

福岡市共働事業提案制度 令和3年度実施事業 最終評価

事業名 評価項	No2	
	フードバンクを活用した食品ロス削減啓発事業	
共働のプロセス		A
事業の成果	目的・目標の達成度	A
	市民への効果	A
	共働の相乗効果	A
最終評価		A
講評		<p>本事業はコロナ禍においても、事業の目標達成度が当初の目標値を上回る実績を上げており、高く評価できます。</p> <p>また、行政と共働で事業を行うことで、社会的信用が得られ、公民連携で社会課題の解決につなげている好事例になっています。</p> <p>食品ロス削減だけでなく、コロナ禍における物価高など社会情勢に最も影響を受けやすい弱者支援としても重要な取り組みであり、事業の分析をもとに行動指針を策定するなど、体系的かつ持続的な活動に期待できます。</p>
令和4年度の状況		共働の成果を活かしそれぞれが実施

○採点の基準

- | |
|---|
| <p>A: 共働の取組、事業の成果が優れている</p> <p>B: 共働の取組、事業の成果がやや優れている</p> <p>C: 共働の取組、事業の成果ともにどちらでもない</p> <p>D: 共働の取組、事業の成果ともに努力が必要である</p> <p>E: 共働の取組、事業の成果ともに不十分で、一層の努力が必要である</p> |
|---|